

よくわかる  
**糖尿病**  
の話



7/7 (金)

● 9:00~12:00 やまだホール

**無料**

血糖値が高いままの生活を続けると、血管がもろく、ボロボロになってしまういわゆる血管病になります。そして、全身にネットワークを結んでいる血管と神経が、血糖値の高い状態が続くことで侵され、適正な栄養の供給が途絶えて全身の臓器にさまざまな障害が起こってくるのです。これは、糖尿病の慢性合併症とよばれています。**糖尿病の慢性合併症には、大きく分けると細い血管にみられる合併症(細小血管障害)と、太い血管にみられる合併症(大血管障害)の2つがあります。**



● **今回のメインテーマ**  
**大血管障害と足病変**  
のお話し

● 循環器の先生の  
特別講演です。  
● お楽しみに

耐糖能異常がもたらす、さまざまな悪影響。  
**血管系障害**ってどんなもの？

小動脈や毛細血管の病変による  
**細小血管症**

- 網膜症
- 腎症
- 神経障害

これらは  
**3大合併症**  
と言われます。

動脈硬化による  
**大血管症**

- 虚血性心疾患(狭心症、心筋梗塞)
- 脳梗塞(ラクナ梗塞など)
- 閉塞性動脈硬化症(ASO)

血管の太さにより、細小血管症と大血管症に分けられるんじゃの。

● 血糖コントロールが  
良くなりますように...

● いつまでも元気で  
暮らせますように

● その他にも食事の注意点・検査や薬についての話なども予定しています。  
※都合により一部変更がある場合があります。

● お申し込みは、グリーン3受まで、お電話でも可 0596-28-2171 (代)